

防災隣組全国会議

早稲田大学特命教授
(財)都市防災研究所 会長

伊藤 滋

(2006 .4 .3)

地域に対する関わりの薄れ

家には寝に帰るだけ

自宅が故郷というわけではない

出勤してもデスクに直行することが多い



自宅のある地域にも
職場のある地域にも
関心が薄い

移動市民の時代

ほとんど毎日が遠距離移動



どこにも出かけない人は少数派



昼間の被災であれば
外出先で被害に遭うのが主流になる

昼間の都市は 暫定コミュニティ」

移動する市民が移動の間だけ形成する
暫定的なコミュニティ」が昼間の社会の中核となる



暫定コミュニティ」の管理を必要とする時代

朝日新聞2003年1月14日(夕刊)

東京駅に200万人集中? どうする帰宅難民

丸の内一帯企業

震災「隣組」

大地震の時、自宅に帰れなくなる「帰宅困難者」数十万人にどう対応したらいいか――。東京駅周辺の丸の内や大手町、有楽町の大企業数十社が参加して、防災対策をつづくる「隣組」を年内に設立する。ビル開放や緊急物資の提供、交通機関の復旧情報の提供など、各企業が足並みをそろえて、パニックを防ぐ。大地震が起きると、200万人以上が同駅周辺に集中する可能性がある。企業間の連携が必要と判断した。

物資提供などで足並み

「隣組」の設立は「東京駅周辺・防災対策のあり方検討委員会」(委員長・伊藤滋早大教授)で合意した。三豊地所、JR東日本、東京電力、NTT東日本などが参加する同委員会が、昨年2月から企業防災のあり方を検討、昨年12月に内閣府の会議で公認した。

また、交通機関の復旧状況や自宅付近の被害状況を電光石火などで伝えられないかなども検討している。

「防災隣組」は日常的な交流やイベントなどを通じて、いざという時に備える。また、防災リーダーなどの人材育成のほか、「帰宅困難者対策」など各社の防災対策に共通の項目を盛り込む。

となつて数日過ごす人は数十万人に上ると推定される。

そのため、ビルのフロアを開放するのか、トイレの使用を認めるか、水、食料、医薬品、毛布などを提供するかなどの対応を各社が分担してできるようにしておく必要がある。また、公共の支援がどの程度されるのかなどの情報も地区で把握する必要がある。各社まちまちで情報がないと、避難者は混乱して、パニックになるおそれがあるからだ。

東京駅周辺防災隣組

いろは九組分け



東京駅周辺防災隣組（地域協力会）の組織



何があっても前へ進める準備を！ B C P、D C Pの時代

東京駅周辺防災隣組(地域協力会) の活動内容

平常時

丸の内警察防犯情報の配信
外国人帰宅困難者避難訓練
防災情報システム導入・習熟
防犯パトロール
防災計画 策定・改定
資機材・食料の備蓄
啓発広報 (シンポジウム・講演会・視察会等)
防災訓練(毎年1月17日開催予定)

オフィス街らしいリスクマネジメントのあり方調査・検討

- ・テロ、国民保護法、防犯
- ・B C P / D C P (District Continuity Plan)
- ・B R P (Business Ruling Platform)

非常時

安否・被害情報収集・伝達
(防災情報システム)

帰宅誘導 (帰宅経路案内)

応急救護

食料・飲料水配布
(備蓄倉庫・貯水槽等からの搬出・配布)

支援要請 (区災対本部連絡)

ボランティア統括
国等行政情報収集

外国人帰宅困難者避難訓練



千代田区と東京駅周辺防災隣組では毎年1月17日に、東京都心部で地震が発生した場合を想定し、途中通行者の被災対応を想定した「帰宅困難者避難訓練」を開催しております。第三回目の開催となる2006年1月17日、初の企画として在日外国人対象の訓練参加を開催しました。この訓練は英語で行われ、東京駅地下広場に集合した後、皇居北の丸公園まで移動し、解散するコースで、都心部で被災したとき、どういう状態が予想され、どういう場所が安全か、知っていただくことを訓練目的とし、フランス領事、アメリカ領事の参加のご参加も得ながら盛況の内に幕を閉じました。

防犯QRパトロール



パトロールの目的・背景

17年度都市再生モデル調査に採択(申請:(財)都市防災研究所、東京駅周辺防災隣組(地域協力会))
従来は必ずしも十分に認識されなかったオフィス街での安全・安心の実態を把握するため、東京駅周辺防災隣組(地域協力会)の
平常時の活動として有志メンバーのパトロールを実施
パトロールを効果的・効率的に行うため、防災隣組と当地区のまち情報プラットフォームである東京丸の内ユビキタスマuseum
とのコラボレーションにより実施
QRコードシート活用による隣組防犯活動であり、オフィス街以外の安全・安心まちづくりでも展開が期待される先駆的な取り組み
(QRコード利用に関する特許を出願中)
既に、3月2日より「パトロール」を実施中

丸の内警察防犯情報の配信

To: tonarigumi@sml-z5.infoseek.co.jp
Subject: [tonarigumi:00076] 丸の内警察より地区犯罪情報のご提供

東京駅周辺防災隣組各位
防犯QRパトロールのご縁で、丸の内警察から防災隣組の皆様に
地区の犯罪情報のご提供をいただけることになりました。
内容については、この地区に関係の深い話に絞って配信してまいりたいと
思います。年末には皆様のご感想も頂戴できれば幸いです。

- *****
- 1 「あなたの息子さんが東京駅で痴漢をして捕まった。丸の内警察署で扱っているが、示談にするには150万円~300万円かかる。30分後に連絡するから幾ら出せるか検討してくれ。」
ある方にこんな電話がかかってきたそうです。その時、丸の内警察署では痴漢の取り扱いはありませんでした。これはまさに振り込め詐欺です。
このような電話がかかってきたら、警察署への確認は非常に大事です。
その際、偽刑事や偽弁護士から教えられた電話番号に電話をしてはいけません。(提供: 丸の内警察)

今回は、振り込めサ半の手口について、この他13件ほど情報を頂戴しました。興味のある方には詳細を配信いたしますので、お申し出ください。

防災隣組全国会議 (1)

平成18年 2月17日 (都市センターホテル)
全国の業務市街地の
地区防災に関わる人々が東京へ集まる



挨拶

早稲田大学

伊藤滋教授

内閣府災害予防国際防災推進担当参事官 西川智 氏

基調講演

「地域協力と企業事業継続 -中央防災会議ガイドラインの発展として-」

京都大学経済研究所先端政策分析センター教授 丸谷浩明 氏

防災隣組全国会議 (2)

参加地域

神戸・旧居留地協議会(神戸市)

明治安田生命(さいたま新都心まちづくり推進協議会構成員)(さいたま市)

東京商工会議所・災害に強いまちづくり専門委員会(東京)

富士見・飯田橋駅周辺地区帰宅困難者地域協力会(東京都千代田区)

みなとみらい21防災まちづくり委員会(横浜市)

泉中央地区防災協議会(仙台市)

東京駅周辺防災隣組

防災隣組全国会議 (3)

他地域との緩い連携体制の構築



ノウハウの共有
交流活動の機会創出

防災隣組全国会議 (4)

連携体制のツール



RSS活用ブログ
メーリングリストの活用

防災隣組全国会議 (5)

RSS活用ブログ

防災隣組全国会議

業務市街地における地域防災に取り組む関係者のための情報交換のブログです。業務市街地の防災まちづくり活動のためにブログを立ち上げてみたい方は(財)都市防災研究所(TEL03-5218-0880、ex4s-mr@asahi-net.or.jp)へご連絡をお申し出ください。ブログサイトを無料でご提供します。

富士見・飯田橋駅周辺帰宅困難者対策地域協力会

- ・ 飯田橋地区にて帰宅困難者避難訓練

powered by [moondakota](#)

東京駅周辺防災隣組

- ・ QR防犯パトロール開始
- ・ 外国人帰宅困難者避難訓練

powered by [moondakota](#)

<http://www7.airnet.ne.jp/bousai/tonari/main/>

防災隣組全国会議 (6)

共有コンテンツの例



地区内活動 配信情報の事例
犯罪発生情報の共有
最新の安全管理技術情報の共有
中央行政情報

例えば

「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」の
ご案内の回覧